

いんとう
きゅうていし

成年
コミック

 Black Cherry

淫蕩 宮廷史

淫帝と
呼ばれた
美少年



第1話

Presented by Hagiyoishi

はぎよし

いんとう
きゅうていし

宮廷史

淫蕩

淫帝と呼ばれた
美少年



その昔太陽神と神官との間に
生まれた半神が帝国を築いた

余は此処に
即位を宣言する！

半神は皇帝として崇められ
彼の血筋は国の発展とともに
脈々と受け継がれていった
そして…

この日第●代皇帝
ヘリオガエリスが
若くして皇帝の座に就いた

第1話

あのお方が
新皇帝…

キラ…

キラ…

まだお若い
なんと美しく
聡明そうな…

かの太陽神の
如き神々しさ…

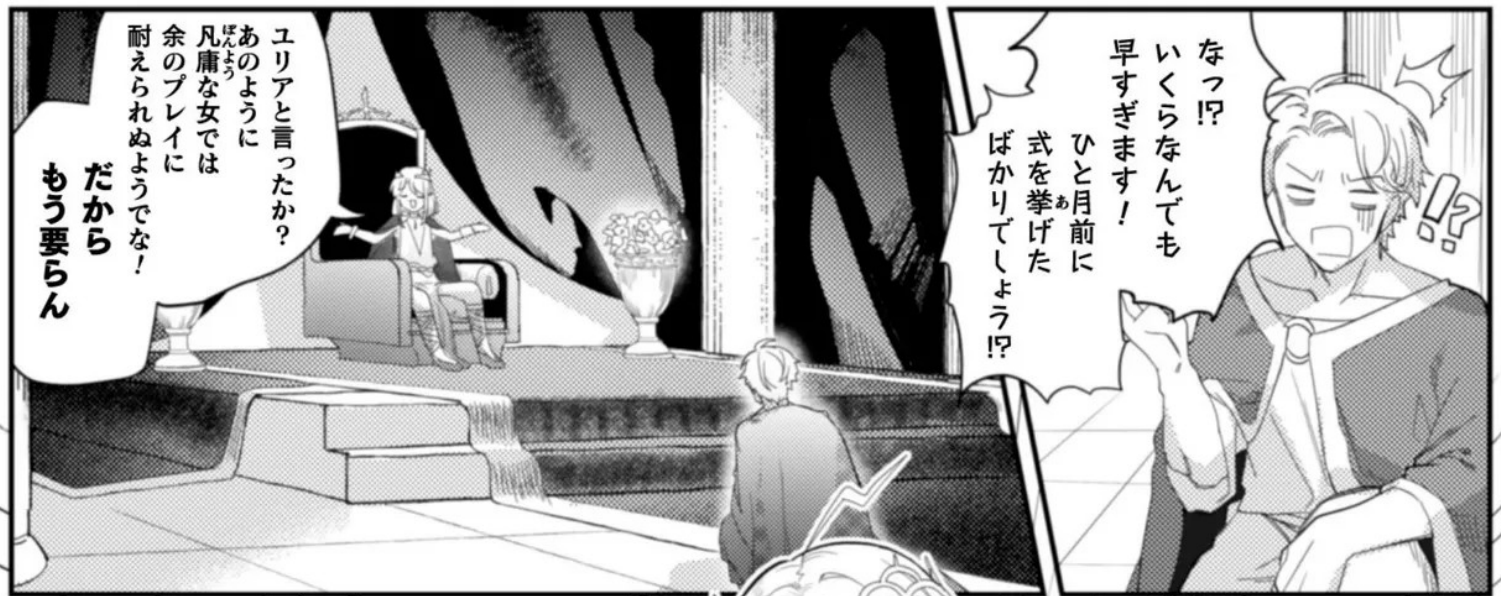
何も知らない者には
そう見えるだろう
あれは皇帝という名の
偶像だということ…

側近として
仕えてきた私には解る…
陛下は幼き頃から
女の格好を好み

高貴な身を数多の
卑しき男によって
自ら穢してきたこと…

そんな倒錯趣味の少年が
政治能力など持つはずもない…
摂政である母に操られ
政を為すだけの

傀儡だと





離縁の手続き等は
おまえがパーっと
済ませろ

余は明日から
早速男を
あさ
漁りに行くぞ！

出会いとは
早ければ早いほど
良いからな！

さうば！
余は寝る！

おやすみ
なさいませ…

キ



神官たち…

夜の祈禱に
向かうのか

カッ

カッ



ご機嫌
うさわ
麗しゅう
陛下

うむ
大儀である

…ん？

カッ

カッ

サッ

そのほう
其方
おもて
面を上げる

ほう…中々に
良い面をしている

今宵余と
褥を共にせぬか

つまりぬ
禁欲生活で
その若い
欲望を…

あ…
あの…っ

持て余して
いるのではないか？

こ皇帝陛下…！
これ以上の
お戯れは…！

…冗談に

決まっておろう！

祈禱に向かうがいい
せいせい励むのだな

…っ！

ぽん

神に仕えし神官は
純潔を守らねばならない…

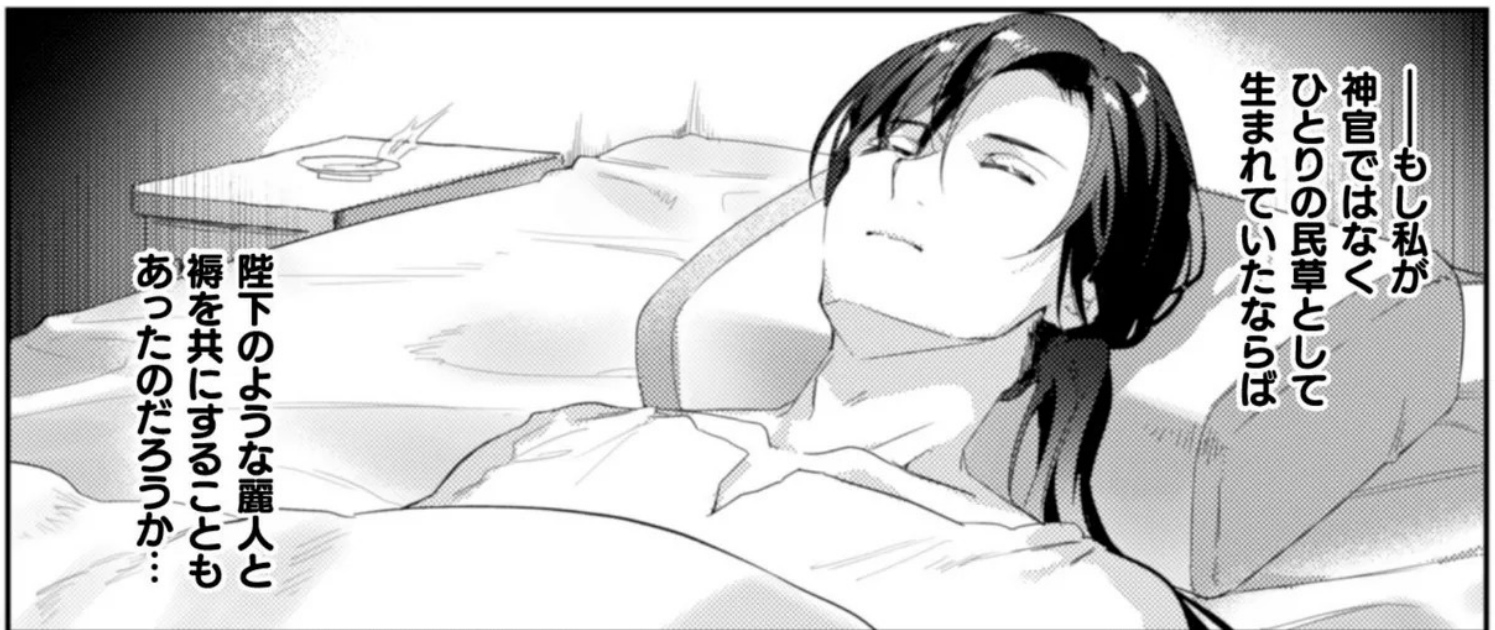
故にあの男は
女を抱いたこともなく
退屈な禁欲生活の中に
若さを持て余している
ことだろう

触れて
みたい…

あの男に
抱かれない…!

うら若き美男の
童貞を奪いたい…!

あの美貌が
快楽に溺れ
歪む姿を見たい



——もし私が
神官ではなく
ひとりの民草として
生まれていたらならば

陛下のような麗人と
褥を共にすることも
あったのだろうか…



うん…？

しゅる

なんだこの
感覚は…



こ皇帝陛下！
いったい何を…！

抗いがたい…
快…楽…？

む

やつぶお
おひはぶあ
(やっと
起きたか)

おっ おお…
おやめ
ください！

嫌なら力づくで
皇帝たる余を
振り払えばいい

もっとも
そなたのチンポは
射精したくて

たまらない
みただがなあ♡

くっく...

どどろか口を
離してください...

うっ...!!

喉奥に絡みつく
ふるふるの
特濃ザーメン...
よっぼど溜まって
いたのだなあ

搾り取り
甲斐がある♡



ほらまだまだ
萎える気配が
ないぞ？

神に仕える者が
足で扱かれて
悶えるなんてなあ

なっ…あ
どうして…

その美貌が
惨めさに染まる様が
一層そそるわ

いけません
そんな…っ

皇帝陛下と
神官たる私が関係を
持つなど…！

などと言いながら
もうパンパン
ではないか

ほらイケ

だめです



思いついたのだ…
太陽神の末裔たる余と
神官であるそなたとの
交わりによって

アム…

初代皇帝のような
神の子をこの身に
宿せるのでは
ないか？…とな

許されざる罪から
神の子など
出来るはずが
ありません…!

先にも言ったであろう
嫌なら余を
突き飛ばせと

そうやって
もたもた
していたら…

ほおら
挿入ってしまったぞ♡

カクッ♡
カクッ♡
カクッ♡

カクッ♡
カクッ♡

カクッ♡
カクッ♡
カクッ♡

これは神の子を
宿すための
神聖な行為なのだ

罪悪感など
感じる必要はない♡

むしろ...

天上におわす神も
喜んでいらっしゃる♡

初めて味わう
肉の快楽はいいだっ

味気ない禁欲生活より
得られるものがあるっ



下下下

下下下

下下下



身体はっ
正直だな♡

おんみ
お御身を
穢すのだけは…!

どうか…!

ダメだ♡
ナカで射精せ♡

中出しする気満々で
せつと硬くなこ…

たっぴり
ナカに出して
いいのだ♡

挿入
挿入

うん

うん

うん

うん

うん

うん

うん

うん



こんなセックス墮落を知っては

もう清き神官になど戻れない!!

どう責任を取ってくれますか!

まじっお...♡
本気種付け...
きまさいい...♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

もっともっと
余に溺れてっ♡

おっ♡

余無くては
生きられない

ちんぽ♡
なっ♡

孕みたがって
ナカがにゆるにゆる
絡みついてきて…!

こんな
淫乱皇帝だとは
思いませんでした!!

おっ♡

おっ♡

おっ♡

おっ♡

おっ♡



こうなったら絶対に
孕ませてやる…!!

ほっっお望みの
精液ですよ!!
全部ナカで受け止めて
くださいね!

ぎゅぎゅぎゅ
ぎゅぎゅぎゅ

ぎゅぎゅぎゅ
ぎゅぎゅぎゅ

ぎゅぎゅ
ぎゅぎゅ

ぎゅぎゅ
ぎゅぎゅ

ぎゅぎゅ
ぎゅぎゅ

ぎゅぎゅぎゅ
ぎゅぎゅぎゅ
ぎゅぎゅぎゅ

ぎゅぎゅ
ぎゅぎゅ

ぎゅぎゅ
ぎゅぎゅ

ぎゅぎゅぎゅ
ぎゅぎゅぎゅ
ぎゅぎゅぎゅ

ぎゅぎゅぎゅ
ぎゅぎゅぎゅ
ぎゅぎゅぎゅ

ぎゅぎゅぎゅ
ぎゅぎゅぎゅ
ぎゅぎゅぎゅ



あはあ...♡

くっばくっ...

あはあ♡

あはあ♡

あはあ♡

あはあ...♡



あの...
陛下...っ

私は.....

何を勝手に
思いつめている！

純潔を失ったから
なんだと言うのか

ぐいっ

これからは
余が困ってやる

夜毎に
子作りするのだ♡



——そして
神官と皇帝の
禁断の逢瀬は

幾度となく
繰り返された



ただ目が
合っただけで




情欲の炎は



互いを求めずには
いられないほど燃え上がり

ムーン...






以上が本日の
報告になります



うむ
ご苦労

それと…



政務とは関係のない
話になりますが

陛下が囲われていた
例の神官を
追放処分しました



掟を破り
淫蕩に身を
堕とした神官を

このまま
宮殿に置いては
おけません



…ですが

醜聞が広まる前
だったので

必要な措置を
早期に取れたのは
幸いでした



そうか…
彼奴はもういないのか…

そもそも神官を誘惑し
純潔を奪うなど
何事ですか！

私はそんな風に
陛下をお育てした
覚えは……

流石に強く
言い過ぎただろうか…
珍しくあの者を本当に
気に入っていたようだし…

余の「神聖なる行為」が
ただの淫蕩だと…？

そつだ
まったくもって
その通りだ…！

あは
あはっ…

あはははは！

——無論 神の子など出来はしない
そんなこと最初から解っていた

それにそろそろ次の
『遊戯』がしたいと
思っていたのだ

さあ次はどんな
享樂に身を委ねようか…

つづく



 **Black Cherry**

ブラックチェリーコミックス

淫蕩宮廷史
～淫帝と呼ばれた美少年～
第1話

漫画●はぎよし

装丁●マイクロハウス

発行●株式会社キルタイムコミュニケーション
〒104-0041 東京都中央区新富 1-3-7 ヨドコウビル
編集部 TEL03-3551-6147 / FAX03-3551-6146
販売部 TEL03-3555-3431 / FAX03-3551-1208

©Hagiyoshi 2020

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、
ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

本作品のご意見、ご感想をお待ちしております

本作品のご意見、ご感想、読んでみたいお話、シチュエーションなど、どしどし
お書きください！ 読者の皆様の声を参考にさせていただきたいと思えます。
手紙・ハガキの場合は裏面に作品タイトルを明記の上、お寄せください。

アンケートフォーム

<http://ktcom.jp/goiken/>

手紙・ハガキ・メールの宛先



〒104-0041 東京都中央区新富 1-3-7 ヨドコウビル
(株)キルタイムコミュニケーション
ブラックチェリーコミックス感想係
メールアドレス blackcherry@ktcom.jp

